

熊本県立大学

# 受 講 生 募 集

募集期間 2023 7/3 月 ▶ 7/28 金

# 授業公開講座

.....  
令和5年度  
(2023年度)  
《後期》

# 募集要項

**【募集期間】 2023年7月3日（月）～7月28日（金）**

※インターネットよりお申込みの場合 : 7月28日13時締切

※郵送またはご持参にてお申込みの場合 : 7月28日13時必着

各講座毎に受講要件が異なりますので、講座概要（6ページ～）を必ずお読みいただき、お申し込みください。

## 受講資格

満18歳以上の方（2023年7月28日時点）

## 開講講座・日時

「講座一覧」（5ページ）「講座概要」（6ページ～）を参照してください。令和5年度（2023年度）後期は、2024年2月2日（金）まで授業が行われます。（最終授業日は、各講座の曜日で異なります。）カリキュラムの都合上、曜日・時限・教室が変更になる場合があります。講座の内容についてのお問い合わせはお受けしておりませんので、このパンフレットにてご確認をお願いします。

## 募集定員

各講座毎に定員がありますので、「講座一覧」（5ページ）をご確認ください。

## 申込方法

申込方法について（3ページ）をご確認ください。

## 受講者選考

「抽選」による場合と「理由書」による場合があります。「講座一覧」（5ページ）および「講座概要」（6ページ～）に選考方法が記載してありますので、ご確認の上お申し込みください。

なお、受講希望の理由書は、インターネットよりお申込みの場合は、お申込み後にお送りする受付完了メールを確認していただき、理由書を添付して返信してください。（Word、Excel等様式は問いませんが、氏名・講座名を必ず明記してください）理由書の提出をもって、正式な受付完了扱いとなりますので、ご注意ください。

郵送または持参にてお申込みの場合は、パンフレット添付の申込書（11ページ）に記入してください。枠内に入りきらない場合は、別紙（様式任意）に記入し、申込書に添付してください。「抽選」の講座については、応募者多数の場合は厳正なる抽選により受講者を決定いたします。「理由書」の場合は、担当教員が理由書に基づき選考を行います。

## 結果の通知

9月上旬頃、申込者全員に選考結果を郵送によりお知らせします。

## 受講料（1講座につき）

	週1回	週2回
後期	5,000円	10,000円

本学にて開催する受講手続・説明会にご参加いただき、現金で受講料をお支払いいただきます（下記参照）。いったんお支払いいただいた受講料は返金できませんので、ご了承ください。（本学都合の場合は除く）

また、受講料の領収書の宛名は申込者ご本人となります。

## 受講手続・説明会

・9月20日（水）①10:30 ②14:30

・9月21日（木）①10:30 ②14:30

上記のいずれかの日程に必ずご参加ください。

受講に係る注意点などの説明のあと、受講料をお支払いいただき、受講票等をお渡しいたします。

## 受講にあたっての注意事項

### 1. 講座について

公開講座は、本来学生のための授業です。受講者に合わせた内容ではありません。

- ・講座での教員への質疑応答は、学生を優先します。
- ・講座中は教員の指示に従ってください。
- ・講座時間外での質問等には応じられません。
- ・受講者への「学力評価（試験）」及び「単位の認定」は行いません。

### 2. 受講について

- ・お申し込みいただいたご本人以外の方の受講はできません。
- ・同伴や見学は、お断りします。
- ・施設内は禁煙です。
- ・貴重品は必ず手元におき、盗難や紛失にはご注意ください。本学では責任は一切負いかねます。

### 3. 欠席について

授業を欠席する場合、教員及び地域・研究連携センターへの連絡は不要です。

### 4. 休講・補講について

自然災害や教員のやむを得ない事情により、講座の休講、補講を行う場合があります。

休講、補講、教室変更については、Webサイト「[地域ラブラトリー](#)」→MENU→講座・学び→定期講座のページでお知らせいたします。原則、個別に連絡はしませんので、講座の前には必ず確認して来学してください。

なお、緊急の場合はできる限り電話等によりお知らせいたしますが、ご連絡できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

### 5. テキスト代等その他の費用について

受講者が講座で使用するテキストの代金及び講座に係るその他の費用は、受講者負担となります。

### 6. 講座の中止について

学生の受講が少ないなどの理由により受講決定後に開講中止となる場合があります。

この場合、お支払いいただいた受講料は返金いたします。

### 7. 受講の停止について

受講者による本学内での迷惑行為（妨害、大声、付きまとい、暴力など）が生じ、講座運営に支障をきたす等、大学の秩序を乱したと本学が判断した場合は、講座開始後であってもすべての授業公開講座の受講を停止させていただきます。なお、この場合、お支払いいただいた受講料は返金できません。またその後、本学の講座は受講できなくなります。

### 8. 損害賠償について

本学の施設、設備等を破損したときは、速やかに届け出てください。その損害を弁償していただくことがあります。

### 9. 個人情報について

お申し込みの際の個人情報は、公立大学法人熊本県立大学が取り扱う個人情報の保護等に関する規則に則り適正に管理を行います。また、個人情報保護の観点から、他の受講者、教員、本学学生に関する連絡先等をお知らせできません。

### 10. 通学方法について

本学では、自家用車での入構規制を行っております。可能な限り公共交通機関をご利用ください。ただし、特段の理由によって自家用車を利用しなければならない方や、片道5km以上の場合は、駐車許可をしています。駐車には必ず「許可証」が必要ですので、受講手続きの際に申請してください。

### 11. 学内施設の利用について

受講者は、図書館及び売店や食堂をご利用いただけます。図書館をご利用の際は「受講票」が必要となります。

## 申込方法について

募集期間内にインターネットもしくは郵送・持参にてお申込みください。郵送・持参でお申込み場合は、受講申込み1講座につき申込書1枚となります。申込書の様式は、Webサイト「地域ラブラトリー」の募集ページからもダウンロードすることができます。

### インターネットよりお申込みの場合

※ 2023年7月28日(金) 13時締切

■**申込方法**：Webサイト「地域ラブラトリー」の募集ページに掲載しているお申込みフォームより必要事項をご入力の上、お申込みください。

Webサイト「地域ラブラトリー」→MENU→お知らせ  
→令和5年度後期授業公開講座 受講生募集ページ

<https://puk-lovratory.com/news/10289/>



■**申込確認**：お申込み後、熊本県立大学 生涯学習 (renkei-tel@pu-kumamoto.ac.jp) からEメールを返信します。  
お申込みから1週間を過ぎてもEメールが届かない場合は、お申込みが正常に受付されていない可能性がありますので、下記問い合わせ先までご連絡ください。

### 郵送または持参にてお申込みの場合

※ 2023年7月28日(金) 13時必着

■**申込方法**：パンフレット添付の申込書(11ページ)に必要事項をご記入の上、下記住所に郵送またはご持参ください。複数講座をお申込みの場合は、コピーしてお使いください。

〒862-8502 (専用郵便番号のため、住所記載不要)

熊本市東区月出3-1-100

熊本県立大学 地域・研究連携センター「授業公開講座」担当 行

■**申込確認**：郵送の場合は郵便到着後、受付確認のお電話をいたします。

## お問い合わせ先

熊本県立大学 地域・研究連携センター

(学内配置図 15番 グローカル棟 1階)

TEL : 096-321-6612

E-mail : renkei-tel@pu-kumamoto.ac.jp

受付時間

月～金曜日 9:00～12:20

(土日祝除く) 13:20～16:00

# 令和5年度授業公開講座時間割

曜日	月			火			水			木			金				
	番号	講座名	教員	教室	番号	講座名	教員	教室	番号	講座名	教員	教室	番号	講座名	教員	教室	
1 時限 (8 : 40 ～ 10 : 10)					3	英語学概論Ⅱ	村尾 治彦	中3					12	建築環境工学Ⅱ	辻原 万規彦	中2	
2 時限 (10 : 20 ～ 11 : 50)			五島 慶一	中2	10	近代文学史					柴田 祐	中ホール	6 18	中国語発展Ⅱ-a 原価計算論	山田 俊 望月 信幸	小3 中2	
3 時限 (12 : 50 ～ 14 : 20)					17 11	生命倫理と法 現代世界と歴史	江崎 一朗 大島 明秀	中3 中2			井田 貴志	大ホール	4 15	英語Ⅵ(c) 公共政策論Ⅱ	李世恩 井寺 美穂	小2 大ホール	
4 時限 (14 : 30 ～ 16 : 00)	1	Seminar for Critical Thinking II b	原 紘子	2 番	2 7 14	英語学演習Ⅱ 日本語学概論Ⅱ 地域づくりと協働	萱嶋 崇 半藤 英明 澤田 道夫	グ111 11 番 大ホール					16	憲法Ⅱ	佐藤 雄一郎	小2	
5 時限 (16 : 10 ～ 17 : 40)					5 9 19	英語教育講義 地域文献講読Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ	吉井 誠 Richard LAVIN 鈴木 元 井田 貴志	小ホール 6 番 大ホール			吉田 希依	グ111					
6 時限 (18 : 00 ～ 19 : 30)																	

注) 番号は講座一覧講座番号です

※時間割の変更がある場合があるので県立大学 HP ⇒地域ラブラトリ・「講座で学ぶ」より確認してください

# 令和5年度 授業公開講座一覧

番号	講座名	講師名	開始日/時限	募集人数	選定方法	受講料(円)
<b>英語</b>						
1	Seminar for Critical Thinking II b	原 紘 子	10月2日(月)／4時限	3人まで	理由書	5,000
2	英語学演習Ⅱ	萱 嶋 崇	10月4日(水)／4時限	3人まで	抽選	5,000
3	英語学概論Ⅱ	村 尾 治 彦	10月4日(水)／1時限	若干名	理由書	5,000
4	英語 VI (c)	李 世 恩	9月29日(金)／3時限	2人まで	理由書	5,000
5	英語教育講義	吉 井 誠 Richard LAVIN	10月4日(水)／5時限	3人まで	理由書	5,000
<b>中国語</b>						
6	中国語発展Ⅱ-a	山 田 俊	9月29日(金)／2時限	5人程度 (相談可)	理由書	5,000
<b>日本語</b>						
7	日本語学概論Ⅱ	半 藤 英 明	10月4日(水)／4時限	5名	抽選	5,000
<b>文学</b>						
8	英米文学多読入門	吉 田 希 依	10月5日(木)／5時限	3人まで	理由書	5,000
9	地域文献講読Ⅱ	鈴 木 元	10月4日(水)／5時限	若干名	理由書	5,000
10	近代文学史	五 島 慶 一	10月3日(火)／2時限	若干名	理由書	5,000
<b>歴史・文学</b>						
11	現代世界と歴史	大 島 明 秀	10月4日(水)／3時限	若干名	理由書	5,000
<b>環境</b>						
12	建築環境工学Ⅱ	辻 原 万 規 彦	9月29日(金)／1時限	数名程度	理由書	5,000
13	地域景観計画学	柴 田 祐	10月5日(木)／2時限	若干名	理由書	5,000
<b>公共</b>						
14	地域づくりと協働	澤 田 道 夫	10月4日(水)／4時限	10人	抽選	5,000
15	公共政策論Ⅱ	井 寺 美 穂	9月29日(金)／3時限	10人	抽選	5,000
16	憲法Ⅱ	佐 藤 雄 一 郎	9月29日(金)／4時限	10人	理由書	5,000
17	生命倫理と法	江 崎 一 朗	10月4日(水)／3時限	若干名	理由書	5,000
<b>経済・ビジネス</b>						
18	原価計算論	望 月 信 幸	9月29日(金)／2時限	若干名	理由書	5,000
19	ミクロ経済学Ⅰ	井 田 貴 志	10月4日(水)／5時限	若干名	理由書	5,000
20	環境経済学	井 田 貴 志	10月5日(木)／3時限	若干名	理由書	5,000

## 1 Seminar for Critical Thinking IIb

【講師】原 紘子

【日時】10月2日～・毎週月曜日  
4時限目 (14:30～16:00)

【募集人員】3名まで 【受講料】5,000円

【講義内容】中級

英語での活動を通じて批判的思考および課題発見・解決力を涵養することを目指します。受講にあたっては、英検2級あるいはTOEIC® L&R 550点以上を取得していることが求められます。The class will be conducted 100% in English.

## 【授業計画】

- 第1回: Introduction and knowledge building  
 第2回: Understanding contents and sharing knowledge  
 第3回: Deepening knowledge through further inquiry  
 第4回: Reviewing and preparing for debate or discussion  
 第5回: Participating in debate or discussion and writing an essay  
 第6回～第10回: The contents to be repeated with a different group of students  
 第11回～第15回: The contents to be repeated with a different group of students

\*使用教材: Handouts will be provided.

## 【選考方法】

受講希望の理由書 (300字程度) により決定

## ◎受講条件

英検2級あるいはTOEIC® L&amp;R 550点以上を取得していること。

## 2 英語学演習 II

【講師】萱嶋 崇

【日時】10月4日～・毎週水曜日  
4時限目 (14:30～16:00)

【募集人員】3名まで 【受講料】5,000円

【講義内容】専門

英文法を習った時、「何故そうしなくてはならないのか」と思ったことはありませんか? "He plays the guitar." の疑問文は "Does he play the guitar." ですが、"does" はどこから出てきたの、と思ったことは? 本講義では、英語学の基礎を概観しつつ、文法の「なぜ」を理論的に追究します。

\*テキスト『英語の主要構文』(2,800円+税) (中村 捷、金子義明〔編〕研究社)

あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

## 【授業計画】

英語の代名詞に関するルールや、時制解釈にまつわる不思議など、具体的な構文を理論的に考察していきます。必要になる専門的な知識は、都度解説致します。

## 【選考方法】

抽選により決定

## 3 英語学概論 II

【講師】村尾 治彦

【日時】10月4日～・毎週水曜日  
1時限目 (8:40～10:10)

【募集人員】若干名 【受講料】5,000円

【講義内容】専門

英語表現の意味もしくはその使用的側面に焦点をあて、認知と言語の関係を考えながら、様々な現象の背後に潜む規則性を考察していきます。認知意味論では特定の表現形式と英語母語話者の認知の仕方の関係や、日本語らしい表現、英語らしい表現を考察します。さらに言語使用の側面において、会話の含意や原則などを扱います。

## 【授業計画】

前半10回は認知意味論について講義を行い、後半5回に言語使用の側面について考察します。

## 【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

## 4 英語 VI (c)

【講師】李世恩

【日時】9月29日～・毎週金曜日  
3時限目 (12:50～14:20)

【募集人員】2名まで 【受講料】5,000円

【講義内容】

この授業では様々な分野の英文を読むことを通じて受講生が将来必要とされるより高度な語彙力及び読解力を養い、幅広い視点から物事を考える能力を養います。基本的な文法の理解と英語を読む力が必要です。

\*インターネットで検索を行う場合があります。インターネットに接続可能な媒体 (携帯電話等) をお持ちください。

## 【授業計画】

受講生は英語における読解力を習熟度に合わせて向上させることが目標です。定められたテキストを読み、アクティビティーを行います。授業を進めていく中で、課題・予習・復習が必要な授業です。

## 【選考方法】

受講希望の理由書 (100字程度) により決定

## ◎受講条件

Eメールでのやりとりや Word 等パソコンの操作ができること。

英語の文章 (500文字程度) がある程度読めて、50% ぐらい理解出来ること。

## 5 英語教育講義

【講師】	吉井 誠・Richard LAVIN
【日時】	10月4日～・毎週水曜日 5時限目（16：10～17：40）
【募集人員】	2～3名まで 【受講料】 5,000円
【講義内容】	専門

英語教育とはどういうものか、どのような学問でどのような研究を行うのかを紹介する。英語教育、並びに第二言語習得、CALL（コンピュータ支援言語学習）などの関連分野の概要を知ることが目的とする。

授業の中で英語が使用されることがあります。

## 【授業計画】

2名の教員によるオムニバス科目である。第1～8回は吉井誠が担当し、第二言語習得と言語学習について紹介する。第9～15回はRichard Lavinが担当し、言語学習と関連分野について紹介する。

## 【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

## ◎受講条件

Eメールでのやりとりやパソコンの操作ができること。

## 6 中国語発展 II-a

【講師】	山田 俊
【日時】	9月29日～・毎週金曜日 2時限目（10：20～11：50）
【募集人員】	5名程度 【受講料】 5,000円
【講義内容】	中級

台湾の女性作家・三毛のエッセイを日本語に翻訳しながら、ピンイン、声調記号の付いていない生の中国語を学んでいく。中級程度以上の中国語能力が求められる。

## 【授業計画】

読み進める箇所を指定した上で、毎回1～2程度の翻訳担当者を決めて翻訳を行っていく。その他の参加者は学習シートに予習の際の疑問点・問題点などを整理して事前に提出する。授業後にその振り返りを行い、再提出する。

## 【選考方法】

受講希望の理由書（100字程度）により決定

## ◎受講条件

課題等の提出をメールで対応できること。

## 7 日本語学概論 II

【講師】	半藤 英明
【日時】	10月4日～・毎週水曜日 4時限目（14：30～16：00）
【募集人員】	5名 【受講料】 5,000円
【講義内容】	専門

日本語日本文学科1年生の必修科目です。日本語に関するこれまでの研究成果を振り返り、その研究方法を学ぶと共に、問題点と今後の可能性を考えます。難解なものにならないよう心掛けますが、専門的内容を含むことをご了承ください。

## 【授業計画】

- ①世界の中の日本語
- ②音韻
- ③語彙
- ④意味
- ⑤文法
- ⑥表現・文体
- ⑦文字・表記
- ⑧言語生活

以上のそれぞれの基礎知識を順に概説します。

## 【選考方法】

募集人員を超えた場合は抽選により決定

## 8 英米文学多読入門

【講師】	吉田 希依
【日時】	10月5日～・毎週木曜日 5時限目（16：10～17：40）
【募集人員】	3名まで 【受講料】 5,000円
【講義内容】	

翻訳を用いて英米文学作品を多読する、英米文学の入門として位置付ける授業です。

ジャンルを問わず多くの作品に触れることで、小説の読み方を学ぶにとどまらず、分野を横断して応用可能な幅広い教養を身に着けることを目指します。

※教科書『アメリカ短編ベスト10』（1,800円＋税）  
（平石貴樹編訳、松柏社）

あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

## 【授業計画】

毎授業事に短編小説一篇を取り上げ、内容について議論します。また、受講生はそれぞれで選定した長編小説を読み進め、中間発表会で内容の要約、問題点などを紹介する機会があります。最終的に学期を終える頃に短編小説10本程度、長編小説1本を読み終える予定です。

## 【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

## ◎受講条件

・EメールでのやりとりやWord等パソコンの操作ができること。

## 9 地域文献講読Ⅱ

【講師】 鈴木 元

【日時】 10月4日～・毎週水曜日  
5時限目 (16:10～17:40)

【募集人員】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 江戸時代の版本（くずし字）で読みます。

江戸時代、肥後熊本藩藩士であった、井沢長秀（蟠竜）の編著とされる『旧説拾遺』（宝永六年板本）を読み、江戸中期の地方武士の教養や関心の在処について考える。

### 【授業計画】

- 1、井沢長秀、その人物と事蹟
- 2、『旧説拾遺』跋文とその周辺
- 3、宝永六年刊の版本により、巻一「源頼光弟頼信をなだむる事」を読む
- 4、以下巻一、巻二と読み進める

### 【選考方法】

受講希望の理由書（100字程度）により決定

## 10 近代文学史

【講師】 五島 慶一

【日時】 10月3日～・毎週火曜日  
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人員】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

本講では、明治期を中心にほぼ時系列に沿って近代文学史上の幾つかの項目を追い、創作活動の背景として存在する個人及び社会的動機に関して改めて確認することで、作家や作品への理解を深める一助とします。特段の予備知識は必要ありませんが、内容は専門的なところにまで踏み込むことがあります。

### 【授業計画】

基本的にある項目・作家などに関して、それぞれ1～2回ずつの講義を行い、最終的にそれらを通じて、文学史の流れの把握を目指します。各回プリントを配布します。

### 【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

## 11 現代世界と歴史

【講師】 大島 明秀

【日時】 10月4日～・毎週水曜日  
3時限目 (12:50～14:20)

【募集人員】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 一般教養

近代日本が断行した数々の政策と歩みを確認しつつ、敗戦国として復興の道を模索した戦後日本の営為と軌跡を、外国語資料を用いて複数の視点から見ていく。また、戦後ドイツとの比較を通して、戦後責任や移民受け入れなど現代日本が直面している諸問題について考えることも課題とする。

### 【授業計画】

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 【近代編】             | 【現代編】            |
| 1: ガイダンス          | 9: 第二次大戦とその終結    |
| ～「日本」という言説～       | 10: 「在日朝鮮人」の誕生   |
| 2: <外地>への進出と統治    | 11: 民族学校の設立と朝鮮戦争 |
| 3: 1940年代の日本社会    | 12: 琉球と沖縄        |
| 4: 近代小学校と教科書の変遷   | 13: 家族とジェンダー     |
| 5: 「国語」と「日本語」の差異  | 14: ドイツの戦後と日本の戦後 |
| 6: 日独の同盟とユダヤ人     | 15: 現代編のまとめ      |
| 7: 大東亜共栄圏の構想と「九州」 |                  |
| 8: 近代編のまとめ        |                  |

### 【選考方法】

受講希望の理由書（800字）により決定

## 12 建築環境工学Ⅱ

【講師】 辻原 万規彦

【日時】 9月29日～・毎週金曜日  
1時限目 (8:40～10:10)

【募集人員】 数名程度 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

建築環境工学のうち、空気環境、光環境、音環境に関する基礎事項を平易に解説する予定です。知識だけにとどまらず、ものの見方や考え方も学べることを目指します。理解を深められるように、できるだけ毎回、演習問題を出題する予定です。関数電卓が必要です。高校卒業程度の数学、物理の知識があることを前提とします。

※教科書『図説 やさしい建築環境』(2,800円＋税)(今村仁美・田中美都著、学芸出版社)  
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

### 【授業計画】

講義の内容は、自然換気、機械換気、換気計画、照度と輝度、昼光と人工照明、照明計画、色彩、音の性質、室内の音響、騒音と振動、などです。

### 【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

◎受講条件

高校卒業程度の数学、物理の知識が前提です。

## 13 地域景観計画学

【講師】	柴田 祐
【日時】	10月5日～・毎週木曜日 2時限目 (10:20～11:50)
【募集人員】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

景観の概念、景観形成の視点、景観形成における自然の重要性などについて、全国各地の具体的な事例を通して学び、地域景観は、景観を構成する様々な要素と、そこでの人々の生活との関わりの中から成立していることを理解する。

## 【授業計画】

- 1、景観の概念と構成要素
- 2、地域における景観構造の把握
- 3、景観計画の考え方
- 4、景観整備の実際
- 5、景観まちづくりの実践
- 6、景観の予測と評価
- 7、文化的景観と地域づくり

## 【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

## 14 地域づくりと協働

【講師】	澤田 道夫
【日時】	10月4日～・毎週水曜日 4時限目 (14:30～16:00)
【募集人員】	10名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

協働とは人と人との相互作用を通して社会の目標を達成していくシステムです。国や県、市町村などが行う様々な行政活動に人びとが参加し、行政と力を合わせていくことで、より良い地域を作り上げていくことが可能となります。この授業では全国の自治体が進めている協働の政策とその理念について専門的に学びます。

※教科書『真・自治行政構想の奇跡』(2,600円+税)  
(荒木昭次郎・澤田道夫、敬文堂)  
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

## 【授業計画】

この授業では、協働の理念についての理解、参加から協働への発展と社会環境の変化の関係、分権概念と協働との関係、近隣政府論、地方政府の考え方などについて学びます。

## 【選考方法】

抽選により決定

## 15 公共政策論Ⅱ

【講師】	井寺 美穂
【日時】	9月29日～・毎週金曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人員】	10名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

公共政策とは、様々なアクターが関与しながら策定される「公共的な諸問題を解決するための活動案」のことです。公共政策は、一般に問題認識→課題設定→立案→決定→実施→評価のステップを経ながらサイクルとして終結するといわれています。本科目では、公共政策がどのようなアクターのもと、どのように形成され、そして決定、実施、評価されているか、そのプロセスを科学的に分析・検討します。その上で、身近な社会問題を題材に、政策の立案に取り組みます。

## 【授業計画】

- |         |         |
|---------|---------|
| 第1回     | 公共政策論入門 |
| 第2・3回   | 議題設定    |
| 第4回     | 政策立案    |
| 第5・6回   | 政策決定    |
| 第7・8回   | 政策実施    |
| 第9・10回  | 政策評価    |
| 第11回    | 政策終了    |
| 第12～14回 | 政策立案の実践 |
| 第15回    | 発表会     |

## 【選考方法】

抽選により決定

## 16 憲法Ⅱ

【講師】	佐藤 雄一郎
【日時】	9月29日～・毎週金曜日 4時限目 (14:30～16:00)
【募集人員】	10名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

本講義は、日本国憲法の統治機構について詳しく講義し、受講生が、わが国の統治機構の細部まで理解し、その問題点や改善の方向性を提示できるようになることを目指します。

## 【授業計画】

国会、内閣、地方自治、平和主義、天皇、裁判所について、詳しく講義していきます。

## 【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

## 17 生命倫理と法

【講師】 江崎 一郎

【日時】 10月4日～・毎週水曜日  
3時限目 (12:50～14:20)

【募集人員】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 一般教養

生命倫理における多様な問題について考察する。『生命倫理学を学ぶ人のために』を解説することを通じて、私たちが近代的市民として身に着けるべき生命倫理と法に対する認識を深める。

※教科書『生命倫理学を学ぶ人のために』(2,300円+税)  
(加藤尚武・加茂直樹 編、世界思想社)  
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

## 【授業計画】

人間の尊厳、バイオ・エシックス、生命倫理学の成立、医療における倫理問題、生命の誕生を巡る法と倫理、生殖補助医療、脳死・尊厳死・安楽死、中絶胎児の医療への利用、医師の倫理綱領、医事法における倫理と法、医療制度に関する法、診療契約と民事責任など

※受講生の理解度や要望、講義の進捗状況等により適宜、変更あり。

## 【選考方法】

受講希望の理由書 (100字程度) により決定

## 18 原価計算論

【講師】 望月 信幸

【日時】 9月29日～・毎週金曜日  
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人員】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

本講義では、原価計算の意義および目的を理解し、原価計算の理論的アプローチおよび計算手法について講義します。最終的には、原価計算の理論を学ぶことに加え、全経2級工業簿記、さらには日商2級工業簿記程度の知識習得を目標とします。そのため、簿記の基礎知識を持っていた方が理解度は高まります。

※教科書『テキスト原価会計 第2版』(2,200円+税)  
(高橋賢、中央経済社)  
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

## 【授業計画】

原価計算の基礎、原価の費目別計算(材料費・労務費・経費)、製造間接費の計算、原価の部門別計算、個別原価計算、総合原価計算(単純総合原価計算、工程別総合原価計算、組別総合原価計算、等級別総合原価計算)、標準原価計算

## 【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

## 19 ミクロ経済学 I

【講師】 井田 貴志

【日時】 10月4日～・毎週水曜日  
5時限目 (16:10～17:40)

【募集人員】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

市場メカニズム・消費者の効用最大化行動・企業の利潤最大化行動について、理論的に講義を行う。数式や図(グラフ)を使用します。

※教科書『入門ミクロ経済学 第3版』(2,900円+税)  
(井堀 利宏、新世社)  
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

## 【授業計画】

講義内容を順次進めます。

## 【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

◎受講条件

微分程度の数学的知識は必要です。

## 20 環境経済学

【講師】 井田 貴志

【日時】 10月5日～・毎週木曜日  
3時限目 (12:50～14:20)

【募集人員】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

余剰分析・外部不経済の内部化・環境の価値評価法・環境経営・都市計画などについて、経済学の視点から講義をする。

※教科書『環境経済学をつかむ 第4版』(2,400円+税)  
(栗山 浩一・馬奈木 俊介、有斐閣)  
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

## 【授業計画】

講義内容を順次進めます。

## 【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

◎受講条件

簡単な数学の知識は必要です。



## 〈 申込みにあたっての注意事項 〉

- 1 本申込書は1枚1講座分でご記入ください。複数講座お申込みされる場合は、講座毎に申込書をご記入ください。この場合、2講座目以降の申込書は「氏名」、「申込枚数」、「合計講座数」、「受講希望講座」欄の記入のみで構いません。
- 2 「理由書」により受講者選定を行う講座は、指定の文字数を確認のうえ、希望理由を記入してください。なお、枠内に入りきらない場合は、別紙（様式任意）に記入し、申込書に添付して提出ください。
- 3 開講する曜日と時限が同じである講座を、重複して申し込むことはできません。
- 4 募集締切後の講座のお申し込み、変更は一切お受けできません。
- 5 決定通知後の取り消しは、お受けできません。
- 6 受講料は、受講手続・説明会にご参加いただき、現金でお支払いいただきます。また、いったんお支払いいただいた受講料は返金いたしませんので、あらかじめご了承ください。（本学都合の場合は除く）
- 7 学生の受講が少ないなどの理由により開講中止となる場合があります。この場合、お支払いいただいた受講料は返金いたします。
- 8 この申込書にご記入いただいた個人情報の取扱いについては、公立大学法人熊本県立大学が取り扱う個人情報の保護等に関する規則に則り適正に管理を行います。

# 施設紹介 お知らせ



# 施設紹介

講座で学んだ内容をさらに深めるために、キャンパス内の施設がサポートします。



## ① 図書館

専門書を中心に約 38 万冊の図書・雑誌を収蔵しており、自由に利用することができます。また、1～3 階の開架書庫・閲覧スペースには 360 の閲覧席を設けており、ゆとりをもって快適に学習できる環境を提供しています。

そのほか、1 階に国内外の主要紙を配置した新聞コーナー、学術雑誌を閲覧できる雑誌コーナーなども設けています。

館内の図書は、各階に備えている専門の端末機で検索することができます。

開館時間 平日 8:40～21:40、土曜日 8:40～19:00

休館日 日曜・祝日・開学記念日・年末年始

(その他臨時休館日等は本学図書館ホームページでお知らせします)

## ② 熊本県立大学アーカイブ (図書館 2 階)

学内外の方々に幅広く熊本県立大学への理解・関心を深めていただく趣旨で、所司代当時の学術資料、写真、看板等を常時展示し、図書館を訪れる方々にご紹介しています。



## 学生食堂 (大学会館内)

カフェテリアスタイルで、ガラス張りの吹き抜けになっている明るい学食です。

人気メニューは、日替わりのランチやカレーです。  
(11:00～13:45 ごろ)

## 書店・売店 (大学会館 2 階)

授業で使用するテキストや書籍、文具、事務用品の販売はもちろん、有料のコピー機なども設置しています。





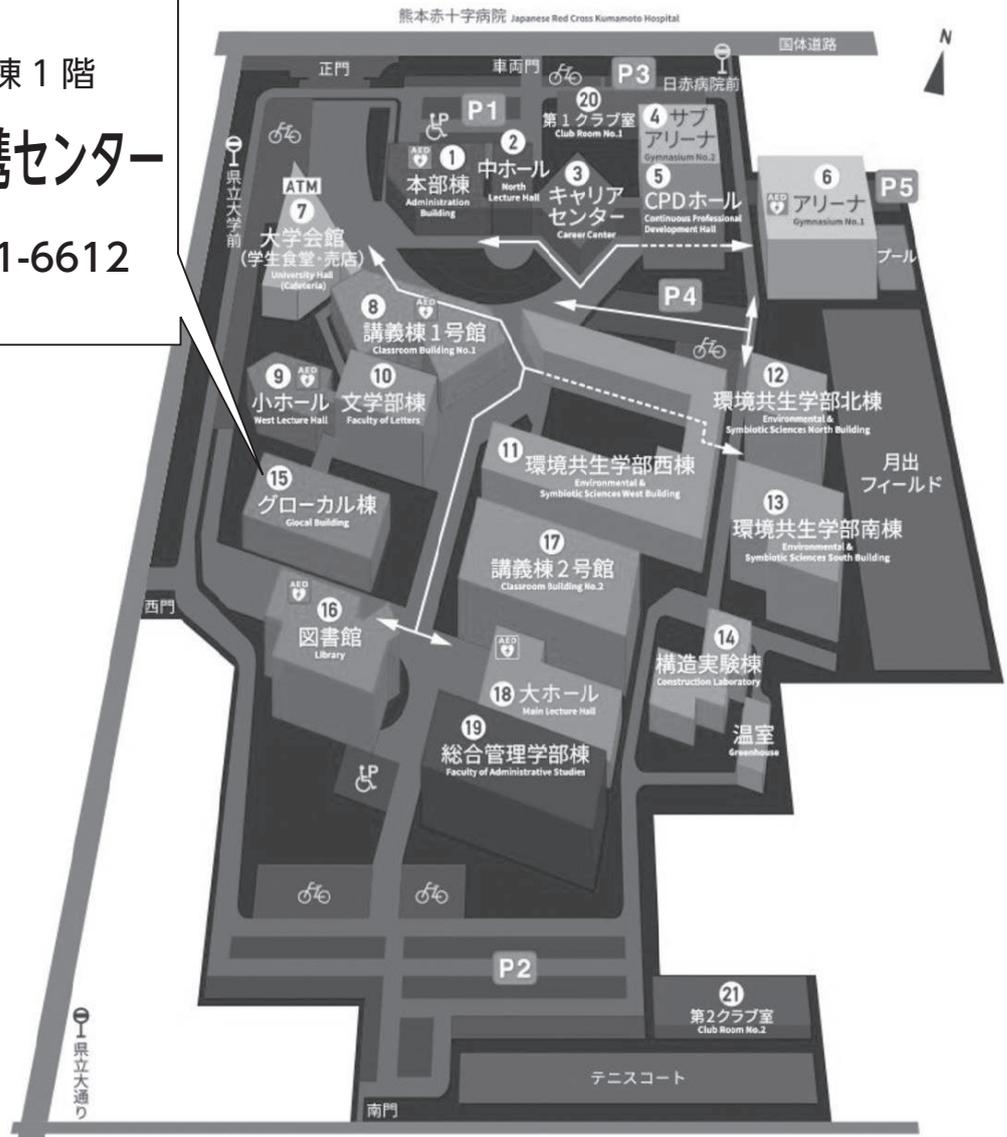
## 地域・研究連携センターについて

熊本県立大学では、平成 18 年度の独立行政法人化にあわせ、地域との連携をより強化し、地域貢献の取り組みを充実していくことを目的として、地域・研究連携センターを設置しています。

地域・研究連携センターは、本学の教育研究資源を地域に繋ぐコーディネート機能や、授業公開講座・各種公開講座の開催や、職業人の学び直しとして、CPD プログラム（Continuing Professional Development 継続的専門職能開発）など大学ならではの学びの場を地域に提供する役割を担うとともに、大学の研究力の向上に務め、「地域とともに生きる」熊本県立大学の地域貢献を推進します。

グローバル棟 1 階  
**地域・研究連携センター**  
 Tel 096-321-6612

## 学内配置図



# 県大と地域をつなぐwebサイト

## \\ 本格始動! //

授業以外の大学の活動を紹介しています。  
あなたの、地域の「さがしもの」が見つかるかもしれません。

熊本の“お役に立ちたい”研究室です。

# 地域ラブラトリー

Kumamoto

熊本県立大学  
Prefectural University of Kumamoto

発見したい

学びたい

研究したい

事業化したい

学び直したい

立案したい

作りたい

新しい情報を更新中!

<https://puk-lovatory.com>

地域ラブラトリー

オンライン  
特別講座

令和5年度  
(2023年度)

受講料  
無料

# 球磨川流域圏 バーチャルキャンパス

KUMA RIVER BASIN VIRTUAL CAMPUS

受講期間 令和5年9月1日(金)～令和6年2月29日(木)

令和2年7月豪雨による災害からの創造的復興をめざし、球磨川流域圏の文化、歴史、環境をテーマにした無料公開講座を開催します。球磨川流域圏の地域としての魅力を発信し、多くの方に本地域に対する理解を深めていただき、復興活動を支援することを目的とした講座内容です。

## 受講生募集

熊本県立大学オンライン特別講座「球磨川流域圏バーチャルキャンパス」の受講生を募集します。期間中配信する全13講座の中から、興味のあるものを選んで受講いただけます。もちろん全講座受講もできます。また、令和4年度に配信した中から15の講座をあわせて視聴いただけます。

申込方法

WEBサイト「地域ラブラトリー」の募集ページに掲載している  
応募フォームからお申込ください。  
<https://puk-loveratory.com/news/9698/>



対象者

高校生以上

定員

先着300名

申込締切

令和5年7月31日(月)

問合せ先

熊本県立大学 地域・研究連携センター  
TEL. 096-321-6612 E-mail. puk-renkei@pu-kumamoto.ac.jp

 熊本県立大学  
Prefectural University of Kumamoto



# 連続展示 緑の流域治水展

2023年5月10日(水)～2024年2月27日(火)

会場：肥後銀行人吉支店 1F 〒868-0004 熊本県人吉市  
九日町82-1

展示時間：9時～17時

休展日：なし

観覧料：無料

開催

「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点

お問合せ

熊本県立大学 緑の流域治水研究室

TEL：096-234-6835 MAIL：midori-lab@pu-kumamoto.ac.jp

## 連続展示スケジュール予定

- ① 5月10～30日 防災と暮らしのIoT
- ② 6月7～27日 緑の流域治水とパートナーシップ
- ③ 7月5～25日 スタディツアー
- ④ 8月9～29日 湿地の生物多様性の保全
- ⑤ 9月6～26日 小水力発電
- ⑥ 10月11～31日 球磨川流域の魚類相
- ⑦ 11月8～28日 治水技術(河道拡幅、霞堤等)
- ⑧ 12月6～26日 森林管理
- ⑨ 1月10～30日 流域治水に関する法制度
- ⑩ 2月7～27日 雨庭

## イベント

展示期間中のイベント情報は追加の案内をご覧ください

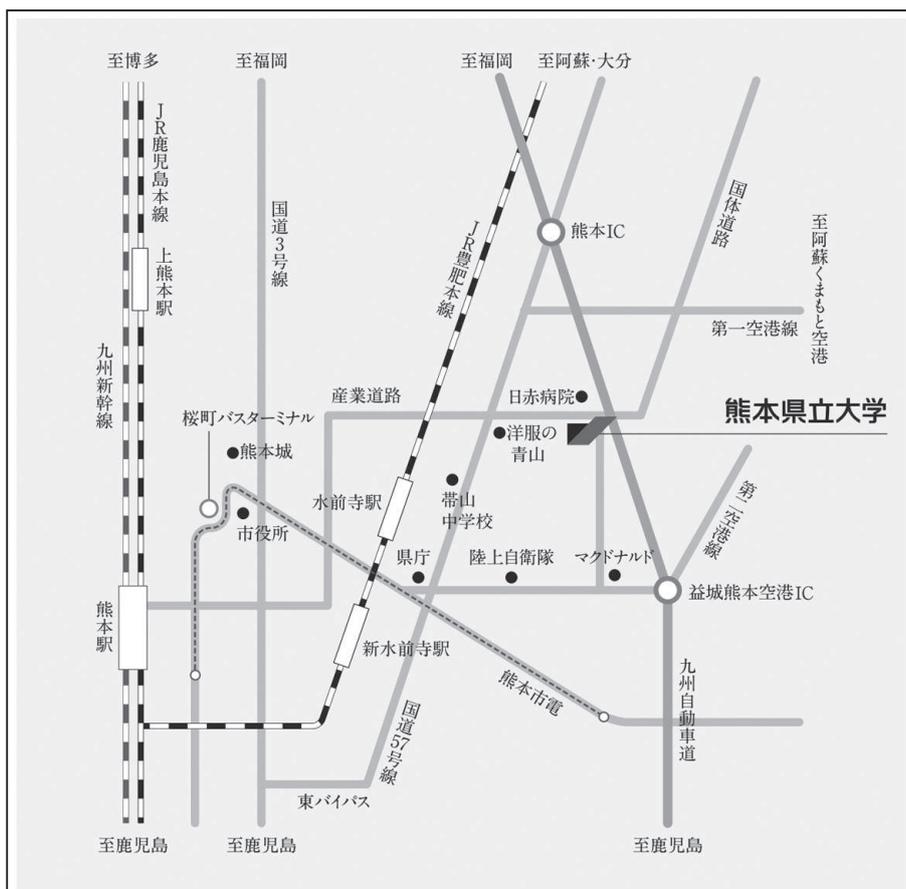
ホームページ



最新情報はこちらをご覧ください

 **緑の流域治水**  
Catchment based Flood Management for Sustainable Society

# 熊本県立大学への交通アクセス



## <マイカー・タクシー利用>

- 熊本 IC から 約 15 分 (約 4.3km)
- 益城熊本空港 IC から 約 10 分 (約 4km)
- JR 熊本駅から 約 25 分 (約 8.2km)
- JR 水前寺駅から 約 25 分 (約 8.2km)

## <バス利用>

### 桜町バスターミナルから

15 番のりば ●都市バス「長嶺小学校」行、「免許センター」行 ([G1-4]、[G1-5] 表示)  
「日赤病院前」バス停下車 (約 30 分)。そこから徒歩 1 分

26 番のりば ●都市バス「日赤病院・長嶺団地」行 ([H1-1]、[H2-1]、[H3-1] 表示)  
「県立大通り」又は「県立大学前」バス停下車 (約 40 分)。そこから徒歩 1 分

### JR 熊本駅方面から

- バスにより桜町バスターミナル下車 (約 10 分)
- 市電により辛島町電停下車 (約 10 分)、その後桜町バスターミナルまで徒歩約 2 分

### JR 新水前寺駅方面「水前寺駅通り」バス停 (スーパーマーケット前) から

- 都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車 ([H2-1]、[H3-1] 表示)  
「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車 (約 20 分)。そこから徒歩 1 分

### JR 水前寺駅方面南口「水前寺駅前」バス停から

- 都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車 ([H2-1] 表示)  
「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車 (約 20 分)。そこから徒歩 1 分

### JR 水前寺駅方面北口「熊高正門前」バス停から

- 都市バス「日赤病院・長嶺団地」行乗車 ([H1-1]、[H4-1] 表示)  
「県立大通り」バス停又は「県立大学前」バス停にて下車 (約 20 分)。そこから徒歩 1 分

~ MEMO ~

A series of horizontal dotted lines for writing.



## お問い合わせ先

熊本県立大学 地域・研究連携センター(グローバル棟1階)  
〒862-8502 熊本県熊本市東区月出3丁目1番100号  
TEL.096(321)6612  
E-Mail [renkei-tel@pu-kumamoto.ac.jp](mailto:renkei-tel@pu-kumamoto.ac.jp)

